

事務事業名	地域子どもすくすく元気事業（子育て支援事業）				担当	健康福祉部 三つ子の魂育成推進室	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8157	
施策名	2	子育て支援の充実			☐ 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ	
法令根拠	真岡市ふれあい地域づくり推進交付金交付要綱					☒ 単年度繰返（開始年度 13 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	1一般管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	地域の誰もが生きがいをもち安心して暮らせる真岡市を築くため、市民の創意工夫を基に、市民と行政が一体となって地域づくりを推進し、思いやりを育み、誇りと愛着の持てる個性豊かな地域を創造することを目的とした「地域づくり事業」の中で、三つ子の魂育成を基本とした啓発事業と、地区が独自に実施する子育て支援事業に対し交付金を交付する。						

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 ・地域づくり説明会後に、希望する地区に実施計画書の提出を求め、事業の認定→交付金の交付→事業の実施→実績報告書の提出→精算の順で行う。 ・事業内容（重複あり） 1）地区公民館への絵本文庫設置...2区 2）地域の子育て支援者・三つ子の魂育成推進室職員による子育て親子、または多世代の交流事業など...区 29年度計画 前年度と同様				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 <table><tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th><th>25 年度(実績)</th><th>26 年度(実績)</th><th>27 年度(実績)</th><th>28 年度(実績)</th><th>29 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア</td><td>事業実施区数</td><td>区</td><td>14</td><td>13</td><td>11</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>イ</td><td>交付金額</td><td>千円</td><td>328</td><td>355</td><td>247</td><td>179</td><td>268</td></tr><tr><td>ウ</td><td>事業参加人数</td><td>人</td><td>1,219</td><td>905</td><td>626</td><td>588</td><td>600</td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)	ア	事業実施区数	区	14	13	11	10	11	イ	交付金額	千円	328	355	247	179	268	ウ	事業参加人数	人	1,219	905	626	588	600	エ								オ							
名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)																																																			
ア	事業実施区数	区	14	13	11	10	11																																																			
イ	交付金額	千円	328	355	247	179	268																																																			
ウ	事業参加人数	人	1,219	905	626	588	600																																																			
エ																																																										
オ																																																										
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 ・全地区				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 <table><tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th><th>25 年度(実績)</th><th>26 年度(実績)</th><th>27 年度(実績)</th><th>28 年度(実績)</th><th>29 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア</td><td>全区数</td><td>区</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td><td>134</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)	ア	全区数	区	134	134	134	134	134	イ								ウ								エ								オ							
名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)																																																			
ア	全区数	区	134	134	134	134	134																																																			
イ																																																										
ウ																																																										
エ																																																										
オ																																																										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・地域全体で健全な子育て支援体制をつくる。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 <table><tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th><th>25 年度(実績)</th><th>26 年度(実績)</th><th>27 年度(実績)</th><th>28 年度(実績)</th><th>29 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア</td><td>助成を受けた区</td><td>区</td><td>14</td><td>13</td><td>11</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)	ア	助成を受けた区	区	14	13	11	10	11	イ								ウ								エ								オ							
名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)																																																			
ア	助成を受けた区	区	14	13	11	10	11																																																			
イ																																																										
ウ																																																										
エ																																																										
オ																																																										
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・地域で子育て支援が図られている。				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 <table><tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th><th>25 年度(実績)</th><th>26 年度(実績)</th><th>27 年度(実績)</th><th>28 年度(実績)</th><th>29 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア</td><td>助成を受けて子育て支援が実施できた割合</td><td>%</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)	ア	助成を受けて子育て支援が実施できた割合	%	100	100	100	100	100	イ								ウ								エ								オ							
名称		単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)																																																			
ア	助成を受けて子育て支援が実施できた割合	%	100	100	100	100	100																																																			
イ																																																										
ウ																																																										
エ																																																										
オ																																																										
(2) 総事業費の推移				単位	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(見込)																																																	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																																	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																																	
			地方債	千円	0	0	0	0	0																																																	
			その他	千円	0	0	0	0	0																																																	
			一般財源	千円	328	355	272	179	268																																																	
			事業費計（A）	千円	328	355	272	179	268																																																	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	3																																																	
			延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50																																																	
			人件費計（B）	千円	203	211	210	208	208																																																	
トータルコスト(A)+(B)			千円	531	566	482	387	476																																																		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		・「地域の子は地域で育てよう」という「地域ぐるみの子育て意識の醸成」を図るため、平成13年度から開始された。																																																								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		・自治会へ加入しない子育て世帯が増え、地域社会とのつながりも希薄化している中で、地域づくり事業として、地域との交流、中でも多世代交流ができるこの事業は、重要な役割を果たしている。																																																								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		・地域の子育て情報交換ができて良い。（支援事業に参加している母親） ・祖父母、親と子、全世代が参加できる事業として取り入れている。（区長）																																																								

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 地域における子育て支援の充実に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 子育て支援は市の重点事業なので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 全地区を対象としているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある ・全地区に呼びかけているので向上余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない ・廃止した場合、地域の子は地域で守り、子育てを支援していくという意識が希薄になる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☐ 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある ・必要最小限の経費であるため削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある ・必要最小限の人件費であるため削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある ・全地区を対象にしているので公正公平である。

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性 ☐：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続 (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項																						